

講座日程

スケジュールと学ぶポイント		
一 日 目	イントロダクション：講座の進め方の確認、参加者の自己紹介、相互交流	9:30～10:00
	第1章 プロジェクトマネジメント手法の概要	10:00～10:30
	・ 時代を超えたプロジェクトマネジメント手法、その来歴と発展経緯、および機能構成	
	第2章 統合マネジメントの要：WBS	10:30～11:00
	・ いろいろなWBS、その使われ方 ・ WBSを核にしたマネジメント要素統合(Integration)の事例	
	第3章 WBS構造の作り方	11:00～14:00(昼休み1時間を含む)
	・ 作業の分解/集約と構造化、WBS設計のための要件収集 【演習：Activity(作業)のPackage化とBreakdown(Structuring)、WBSの階層設計】	
	第4章 個別マネジメントフレームの相関とWPの内容定義	14:00～15:30
	・ 成果管理のための情報の種類と定義 ・ WP(Work Package)を核にしたパフォーマンスモニターのロジック ・ 統合管理の要“WP” 【演習：WPの内容定義(定義票作成)】	
	第5章 作業の定量監視	15:30～16:30
二 日 目	・ Activityの定量表示 ・ WPを介した管理情報統合の仕組みと情報フロー、多様なWBSの利用活用 【演習：WPの内容定義(続き)】	
	第6章 スケジュール管理計画	16:30～17:30 9:30～11:00
	・ スケジュール作成の要件調査と標準的なスケジュール作成、現実的なCPM(クリティカルパス法)スケジュール作成の要領 ・ WBSとCPMスケジュールの連携(マイルストーン設定他)、資源平準化して時間とWPサイズを総合調整 【演習：作業ネットワーク作成】【演習：スケジュールとWBSの統合】【演習：マイルストーン設定】 【P3デモ：山積・山崩】	
	第7章 作業測定と成果の評価	11:00～12:00
	・ 作業の計測(作業計測のためのActivityの定量化) ・ 成果評価のしくみ(作業成果評価法：出来高勘定法、出来高目標/実績の微調整) 【演習：WPの作業出来高EV計算(CV, SV, CPI, SPI)、出来高管理手法によるWPの成果分析】 【P3デモ：PV(計画作業量)、EV(出来高)、AC(資源消費実績)のSカーブ】	
	第8章 プロジェクトマネジメント組織と役割分担	13:00～14:00
	・ プロジェクトマネジメント機能構成/人的組織、マネジメント情報の流れ ・ プロジェクトマネジメント組織の設計と担当職務の割付 【演習：プロジェクト組織構築：プロジェクトマネジメント機能設計/実行組織設計】	
	第9章 プロジェクトコントロールベースライン、その要にWBS/WP	14:00～14:30
	・ プロジェクトコントロールベースラインの確認 ・ 多様な情報収集様式、自分の意に叶う情報収集方式と成果分析(各種のレポート) 【PM支援ソフトのデモ：プロジェクト進捗レポート様式の事例】	
	第10章 実績把握と状態分析、問題箇所究明、対策検討	14:30～15:00
	・ 多様な実績レポート ・ 成果の分析/問題原因の究明、Catch up プラン、ベースラインの変更 【演習：進捗レポートの見方：状態分析、問題点究明、対策立案】	
	総合演習 総合評価、Q&A	15:00～17:30
	【各グループで仮想プロジェクトを設定し、統合管理システムを構築する】	

講師紹介

城戸 俊二 (有)デム研究所 代表取締役

業務経歴：

昭和37年4月東洋エンジニアリング(株)入社、石油精製プラント、化学プラントなどの設計、建設、およびプロジェクトマネジメント等を担当し、平成10年2月 定年退社。

平成10年4月(有)デム研究所を設立。プロジェクトマネジメント教育、同手法導入コンサルティング、オイルメジャー系国内石油精製会社のタンクヤード改造プロジェクトのプロジェクトコントロールマネジャー等を行い現在に至る。

主要な学研活動：

(現)日本プロジェクトマネジメント協会理事。(元)エンジニアリング協会プロジェクトマネジメント基礎講座(現行：PM実務習得コースL2)講師、同協会でプロジェクトマネジメント関連研究活動多数。